

# ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.B-7 (G204)		調査位置											北緯	36° 57' 55.0000"								
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2009-07-06 ~ 2009-07-08										東経	139° 30' 59.0000"							
調査業者名				主任技師											現場代理人			コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	103.53 m	角度			方			地盤勾配			使用機種	試錐機		ハンマー 落下用具									
総掘進長	16.00 m										エンジン	ポンプ											

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日			
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数 (cm)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10					20		
1				粘土混じり砂礫 (GS-C)				2-70mm程度の亜角礫が主体である。所々、100-150mm程度の玉石が混じる。隙間は粘土混じり砂で充填される。				1.15	2	2	3	7/30						
2												1.45	2	2	3	10/30						
3												2.15	3	3	4	10/30						
4												2.45										
5												3.15	3	4	8	15/30						
6	97.73	5.80	5.80					2-50mm程度の角礫が主体である。割れ目には黒褐色の土砂を挟む。岩片状コアが多い。				3.45	3	4	8	15/30						
7	97.18	0.55	6.35		暗茶褐							4.15	5	3	2	10/30						
8					暗褐灰			一部は丸みのある角礫-岩片状コアとなるが、長さ10cm以上のコアが主である。亀裂面に沿って風化し、褐色に変色しているところがある。亀裂面は密着している。				4.45	5	3	2	10/30						
9												5.15	5	5	5	15/30						
10												5.45	5	5	5	15/30						
11										07/06 6.38		6.15	18	22	3	50/23						07/06
12												6.38	50		50							
13												7.00	50		50							
14												7.05	50		50							
15												8.00	50		50							
16												8.00	50		50							
17												9.00	50		50							
18												9.02	50		50							
19												10.00	50		50							
20												10.03	50		50							
21												11.00	50		50							
22												11.01	50		50							
23												12.00	50		50							
24												12.01	50		50							
25												13.00	50		50							
26												13.03	50		50							
27												14.00	50		50							
28												14.00	50		50							
29												15.00	50		50							
30												15.01	50		50							
31												16.00	50		50							
32												16.00	50		50							